

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社
 コード番号 3766 URL <http://www.sdci.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細谷 徳男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部長 (氏名) 関根 秀樹

TEL 03-5300-7800

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,561	1.9	△25	—	△17	—	△3	—
23年3月期第2四半期	2,515	△3.6	△20	—	△0	—	△12	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △18百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △14百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0.86	—
23年3月期第2四半期	△3.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	4,529	3,399	74.5	921.70
23年3月期	4,681	3,462	73.3	936.78

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,374百万円 23年3月期 3,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,132	11.6	210	53.4	219	34.1	122	52.7	33.58

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	3,940,000 株	23年3月期	3,940,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	278,361 株	23年3月期	278,361 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	3,661,639 株	23年3月期2Q	3,661,639 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕P2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災とその後の電力供給の制約などにより、国内生産への影響が出たことに加え、米国景気の減速、欧州の金融不安による急激な円高により低迷は継続しており、雇用や個人所得が依然として厳しいなど、今後の景気回復の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス分野においても、企業のIT投資は徐々に増加の傾向が見られますが、東日本大震災の影響を受け依然として厳しい状況のまま推移いたしました。

このような状況の下、当社グループでは前期に引き続き、主要顧客との信頼関係に基づく案件受注、営業力の強化、固定費の削減、外注費その他諸経費の圧縮等を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間における売上高は2,561,585千円（前年同四半期比1.9%増）、営業損失は△25,653千円（前年同期は△20,701千円の営業損失）、経常損失は△17,973千円（前年同期は△168千円の経常損失）、四半期純損失は△3,151千円（前年同期は△12,052千円の四半期純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 情報処理サービス事業

情報処理サービス事業につきましては、新規案件の受注確保に全力を尽くしてまいりましたが、継続案件の縮小もあり当面の業務量が不足し厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間における売上高は710,132千円（前年同四半期比9.5%減）、営業損失△39,378千円（前年同期は△20,758千円の営業損失）となりました。

② システム開発事業

システム開発事業につきましては、主要顧客からの受注案件が徐々に増加し、技術者の待機状態が解消してまいりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間における売上高は1,599,621千円（前年同四半期比8.6%増）、営業損失△26,826千円（前年同期は△38,287千円の営業損失）となりました。

③ アッセンブリー事業

アッセンブリー事業につきましては、主要顧客からの受注が徐々に回復し順調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間における売上高は251,831千円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益40,551千円（同5.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失が△10,270千円となり、売上債権の減少236,433千円、未払金の減少△73,880千円、たな卸資産の増加△44,782千円により、当第2四半期連結会計期間末には2,380,639千円となりました。その結果資金残高は、前連結会計年度末に比べ70,743千円増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は132,302千円（前年同四半期は198,874千円の獲得）となりました。これは主に売上債権の減少236,433千円、未払金の減少△73,880千円、たな卸資産の増加△44,782千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は△24,943千円（前年同四半期は△3,658千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は△36,616千円（前年同四半期は△29,293千円の使用）となりました。これは配当金の支払額によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年11月2日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

- ① 固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却額を期間按分して算定する方法によっております。
- ② 一般債権の貸倒見積高の算定方法は、四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
- ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法は、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,309,896	2,380,639
受取手形及び売掛金	1,104,494	868,061
商品及び製品	11,010	11,356
仕掛品	82,999	119,877
原材料及び貯蔵品	8,050	15,608
その他	102,466	99,378
貸倒引当金	△408	△300
流動資産合計	3,618,509	3,494,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	328,953	347,133
減価償却累計額	△192,064	△197,663
建物及び構築物（純額）	136,889	149,470
機械装置及び運搬具	98,829	98,829
減価償却累計額	△93,952	△95,167
機械装置及び運搬具（純額）	4,876	3,662
土地	112,278	112,278
その他	182,252	182,990
減価償却累計額	△146,511	△154,986
その他（純額）	35,741	28,004
有形固定資産合計	289,786	293,415
無形固定資産		
のれん	143,728	129,360
ソフトウェア	52,307	52,398
その他	10,645	10,599
無形固定資産合計	206,681	192,357
投資その他の資産		
投資有価証券	64,306	37,605
長期貸付金	5,406	4,506
繰延税金資産	171,864	175,824
その他	324,823	331,178
投資その他の資産合計	566,401	549,114
固定資産合計	1,062,869	1,034,888
資産合計	4,681,378	4,529,509

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,705	30,529
未払金	289,551	215,223
未払法人税等	48,745	2,346
賞与引当金	148,081	147,944
役員賞与引当金	7,163	4,518
その他	87,379	117,206
流動負債合計	621,627	517,768
固定負債		
退職給付引当金	527,166	538,560
役員退職慰労引当金	70,085	74,132
固定負債合計	597,252	612,692
負債合計	1,218,879	1,130,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	293,182	293,182
利益剰余金	2,872,664	2,832,897
自己株式	△85,218	△85,218
株主資本合計	3,414,535	3,374,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,617	174
その他の包括利益累計額合計	15,617	174
少数株主持分	32,346	24,106
純資産合計	3,462,499	3,399,049
負債純資産合計	4,681,378	4,529,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	2,515,030	2,561,585
売上原価	2,091,629	2,132,050
売上総利益	423,401	429,535
販売費及び一般管理費	444,102	455,188
営業損失(△)	△20,701	△25,653
営業外収益		
受取利息	411	393
受取配当金	826	962
投資不動産賃貸料	480	480
投資事業組合運用益	1,199	—
助成金収入	15,428	4,057
雑収入	2,349	1,915
営業外収益合計	20,693	7,808
営業外費用		
不動産賃貸原価	160	122
投資事業組合運用損	—	6
営業外費用合計	160	128
経常損失(△)	△168	△17,973
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,379
特別利益合計	—	8,379
特別損失		
固定資産除却損	1,574	7
投資有価証券評価損	1,167	407
投資有価証券売却損	—	260
事務所移転費用	867	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,612	—
特別損失合計	11,221	675
税金等調整前四半期純損失(△)	△11,390	△10,270
法人税等	1,029	△7,630
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△12,420	△2,640
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△367	510
四半期純損失(△)	△12,052	△3,151

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△12,420	△2,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,399	△15,443
その他の包括利益合計	△2,399	△15,443
四半期包括利益	△14,819	△18,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,452	△18,594
少数株主に係る四半期包括利益	△367	510

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△11,390	△10,270
減価償却費	26,575	28,073
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,612	—
のれん償却額	14,417	14,367
有形固定資産除却損	1,574	7
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△8,118
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,167	407
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,928	△137
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,133	△2,645
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	21,164	11,393
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,733	4,046
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	151	△107
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△15,479	—
受取利息及び受取配当金	△1,237	△1,355
投資事業組合運用損益 (△は益)	△1,199	6
売上債権の増減額 (△は増加)	254,343	236,433
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	—	△188
未払金の増減額 (△は減少)	△62,771	△73,880
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△26,932	△44,782
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,561	△10,175
その他	25,080	30,217
小計	200,188	173,291
利息及び配当金の受取額	1,236	1,353
法人税等の支払額	△2,549	△42,342
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,874	132,302
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	14,865
有形固定資産の取得による支出	—	△19,630
無形固定資産の取得による支出	△758	△12,572
貸付けによる支出	—	△300
貸付金の回収による収入	1,350	980
子会社株式の取得による支出	△4,250	△8,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,658	△24,943
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△29,293	△36,616
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,293	△36,616
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	165,923	70,743
現金及び現金同等物の期首残高	2,055,902	2,309,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,221,826	2,380,639

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報処理サ ービス	システム開 発	アッセンブ リー	合計		
売上高						
外部顧客に対す る売上高	784,287	1,473,006	257,736	2,515,030	—	2,515,030
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	784,287	1,473,006	257,736	2,515,030	—	2,515,030
セグメント利益又 は損失 (△)	△20,758	△38,287	38,344	△20,701	—	△20,701

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報処理サ ービス	システム開 発	アッセンブ リー	合計		
売上高						
外部顧客に対す る売上高	710,132	1,599,621	251,831	2,561,585	—	2,561,585
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	710,132	1,599,621	251,831	2,561,585	—	2,561,585
セグメント利益又 は損失 (△)	△39,378	△26,826	40,551	△25,653	—	△25,653

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。